

天神小学校地域コーディネーター 小野 里枝美

気づくともう夏休み突入！！

長い梅雨も明け、あっという間に真夏モードになりました。

入道雲と青空とひまわりの季節、お子様方は元気に夏休みを堪能していることと思います。

1学期は愛媛県の感染特別警戒機、そして新型コロナまん延防止重点措置指定を受け、4月、5月はほとんど活動ができませんでした。やっと解除になった6月から怒涛のふるさと学習が一気に始まりましたが、毎年天小の子どもたちが楽しみにしている5月中旬の泉谷の棚田での田植えは昨年引き続き行うことができませんでした。

上岡さんにも楽しみにされていたこの行事、本当に残念です。秋にはぜひ稲刈りにお邪魔したいと思っております。

以下、学年別の報告です。

1年生 春の龍王公園に春を捜しにお出かけの予定でしたが、延期になった遠足で行ったと
のことで次は2学期に秋を捜しに町内にお出かけしたいと思っております。

2年生 **6月16日**、小雨の中お店探検の付き添いに出かけました。6グループに分かれて、天神地区の**大森理容店・岡野商店・石崎一心堂・田中商店・宮脇商会・セブンイレブンさん**の中から3店を回って、どんなお店なのか探検します。今回はインタビューや質問無しで自分たちの目で観察しました。

町内の方3名にもお手伝いいただき、子ども達の引率をお願いしました。
しっかり挨拶をして、一生懸命お店を調べてメモする姿がとても印象的でした。
2学期には同じお店でのインタビューも予定しているそうです。

3年生 **6月30日**、**昭和刷子株式会社さん**の工場を見学させていただきました。
ホテルや旅館のアメニティ部門では日本のトップブランドである昭和刷子さん。
工場内部は常に清潔に保たれ、また社員の皆様も生き生きとお仕事されていていつも元気をもらえる場所です。子ども達からも積極的に様々な質問がありました。
ものつくりの現場を見せていただけるのはとてもありがたいことです。

自分たちが住んでいるこの小さな町にも日本で一番の会社があることに子ども達は驚いていました。帰りにはお土産にと全員に竹製の歯ブラシをいただきました。
2学期にはこれまた地元の誇り、大森産業さんに見学に出かける予定です。

4年生 毎年盛りだくさんな4年生。まずは**6月11日**の遠足に**内子の町並み**に行きました。内子座を**ガイド**していただき、奈落や回り舞台も見学。地下に入るのは初めての子が多く興味深々でした。次に商店街を抜けビクターセンター（昔の警察署）、下芳我邸、昔の面影の残る伊予銀行、森文を経て町並保存地区へ。

江戸末期から大正時代の街並みを歩き、本芳我邸の大きさに驚きながら、そして**上芳我邸**では**ガイドさん**に建物の内部をご案内いただきました。木蠟資料館では内子の繁栄の元となった木蠟の作り方も勉強できました。

6月28日は**町内の上水道施設**の見学です。

バスに乗ってまずは論田浄水場へ。ここは町内では大きい浄水施設があります。

現地では**内子町役場上下水道班の職員さん**にご案内いただきました。

最新の技法で麓川地下水に含まれる微量の鉄やマンガンなどの不純物を取り除きます。オートメーションで町内の水が管理されているシステムも見学できました。

次はいよいよ我が天神地区の取水場へ。

小田川の河川敷にある井戸の蓋と近くにある塩素管理の小さな建物に子どもたちはさっきとえらいこと違う。。。これだけ！？と不思議顔。

実は内子知清と五十崎地区の水源である小田川の地下水はそのまま飲んで大丈夫な綺麗ななので浄水システムは必要ないのです。〇〇の水と銘打って売られているお水と同じレベル。日本の水道法ではどうしても微量の塩素を添加しなければならない決まりがあるので塩素管理は不可欠ですが、こんなにきれいな無処理のおいしい水道水を飲むことができるシアワセはないと私はいつも思っています。

最後に貯水池まであがり、貯水池の高さを実感して上水道施設見学は終了です。

5年生 **6月29日**、1時間目から4時間目までを使って**小田のバイオマス発電所さん**に見学に行きました。町内のほとんどを森林が占める内子町ならではの取り組みです。

まずは**内子町森林組合さん**の林業のお話を聞いて、今の林業がどうなっているかを勉強し木材置き場も見学しました。沢山の大型機械を駆使し、あっという間にカットされ、分別されていく様に驚きの連続。次にペレット工場とバイオマス発電のお話を伺い各自レシーバーとヘルメットを装着していよいよ工場見学です。

町内の80%を森林が占めている内子町では製品以外の端材や雑木を有効活用する事はとても重要な課題です。それまで捨てられるかそのまま放置されてきたものからペレットをつくり、そのペレットを使って発電しているそうです。

作られた電気は町の3/1を賄えるほどの量になります。単純に例えると発電所のある小田地区全体をまかなえる電気がここバイオマス発電所で内子の製品にならない木から作られていることになります。

石炭や原子力に頼らずに新しい技術でそこにあるものから電気をつくる、最新のシステムに子どもたちも大人も驚きの連続でした。

6年生

6年生では年間を通して凧をテーマに学習していきます。

まずは**6月8日、凧博物館さん**に出向き、五十崎の凧合戦の歴史について勉強しました。職員さんによる盛りだくさんのお話の中、自分たちが生まれた年の出世凧の写真も見せていただき、とても盛り上がりました。

日本一、いや世界一軽くて空高く揚がる五十崎の凧。2畳分の大きさの凧が500gと聞き、実際に持ってみてその軽さに驚いていました。

6月21日には和紙の学習で**天神産紙さん**にお邪魔しました。

内子の小学校では卒業証書に自分で漉いた和紙が使われます。冬に自分たちが体験することもあってみんな真剣に見学できたようです。

とても薄くて丈夫な和紙。今は若い方々も職人さんとして頑張っておられます。

地元の誇る伝統産業があればこそその五十崎の凧だと感じました。

2学期には凧文字の勉強と作成。そしていよいよ白凧づくり。

3学期には白凧に絵付け（凧文字）して卒業式に臨みます。

支援学級

7月13日畑に植えている野菜について**愛媛たいき農協の畑（はた）さん**にお話していただきました。畑でズッキーニ、トマト、ナス、パプリカなどの夏野菜を収穫しながらそれぞれの野菜についてたくさんのお話を教えていただきました。

野菜づくりで大事なものは栄養たっぷりの土とおひさまと水。そして愛情。

人も野菜もおんなじですね。

畑さんに畑のことを教えてもらう、貴重な時間でした。

1学期もたくさんの方々には天神の子どもたちのためにご尽力頂きました。

ありがとうございました。また、2学期もよろしく願いいたします。